部等名	課等名	係等名
経済部	産業振興課	企業立地推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	02	01	13	12	若者地域定着化促進に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
る経	総事業費	0千円	0千円	4,320千円	0千円
紅 費	総人件費	0千円	0千円	2,972千円	
全体	総事業コスト	0千円	0千円	7,292千円	

事務国	事業名	01 若老		指標	票名 京	就職面接会での	カマッチング件数				指標種別	活動結果指	標							
3-32	- * u	от <u>п</u> г				H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	計	旨標の概要	就職面接会の る延べ件数	の参加求職者	が各企業ブー	スで着座す	
戦略:	プラン	10	1 商工業の育成	目標	標値	-	-	180 件	1	90	200	-	-							
		3	1 若者の人材確保	実	績	-	170 件	107 件												
総合	戦略	2	2 移住・定住の促進				H28年度			1	H2	29年度	-	そ	の他の指標	 就職内定者	数			
	_			 改 善 善 目	_				改善	 ·就職面 ·ライフス	接会に関しては	t , 開催時期の見 ・に関しては , シラ	l直し。 Fィプロモーショ							
/A D.1	きた			目標					目標	ン事業や	市内大学との	連携を検討。			事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
個別		•											Ę	事業費(A)	0千円	0千円	4,320千円	0千円		
抽動物	根拠法令等 -		事 業 計 計		事 # H28年度の概要については、令達予算で実施していた * ため、雇用促進対策事業に記載。H29年度より本シート				事	· ライフス · 合同就	く はタイルセミナー 職面接会の開	·の開催。(8月) 催。(9月)			国庫支出金	0千円	0千円	2,160千円	0千円	
化区1处7				 		雇用促進対策 。 。	事業に記載。H29	9年度より本シート	計画	事 ・ライブスダイルセミナーの開催。(8月) ・合同就職面接会の開催。(9月) 業 ・若者地域定着化促進に向け、地域のニーズをより反映した継続的な事業を展開するために、企業、教育機関商工会等と検討会を開催。(年2回)					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業	分類	4 任意	意的事業		1 商上会等と検記 						テと検討会を開 り	惟。(年2回)		内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行	·体制·	一部委	託											$\left\ \cdot \right\ $	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
車	事							上							一般財源	0千円	0千円	2,160千円	0千円	
業しのは	の一若者の	 沙地域定着化と企業の雇用安定化の促進		活動	-									/	人件費(B)	0千円	0千円	2,972千円		
目的				実					活動実績				 - -	世 正 割合 職	0.00人	0.00人	0.40人			
														訳	時間外 勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間		
	マッチン	グを行	かりのある大学生と地元企業のい、若者の地域定着化と企業の						 -						臨時職員等	-	-	無		
	る。		進するための就職面接会を開催	成	_				上半期:						事業コスト (A + B)	0千円	0千円	7,292千円		
(J)	が始まる	320代i	的に意識し,将来の居住地の選打 前半の大学生世代対象に,つくは 動くことの魅力を発信する「つくば						成果					Н						
概要	イフスタ	イルセ	ミナー」を開催する。 は、国の地方創生先行型事業と											年						
	て,試験	帥にぽ	は、国の地方劇生だり至事業と 尾施した。平成28年度からの3年 准進交付金の認定を受けて3年間	5					課					年度当初	[
	の事業	期間で	実施する。	題 題	-				題	-				∥積	į					
	H28 環境	<u> </u>	-		事業の	_	改善目標の	<u> </u>		 事業の	_	改善目標の	1	算根拠] 					
ISO	関連 上性				<u> </u>		進捗状況	-		<u> </u>	-	世帯状況	-	,,,,						
14001	H29	- -		<u></u>	有効'				≑ ₩	有効性				ша	30年度					
	環境	評 価	効率'				効率性				の;	方向性 -	理由 -							
	性	総合評価				0	総合評価 -													

部等名	課等名	係等名
経済部	産業振興課	経営支援係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	05	01	02	11	雇用促進対策に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4マ	総事業費	8,458千円	7,752千円	9,353千円	0千円
る経費全体	総人件費	4,805千円	4,789千円	3,280千円	
全体	総事業コスト	13,263千円	12,541千円	12,633千円	

事務事業名	01 雇	€用f	促進対策事業	指	標名	ふるさとハロ-	-ワークでの	相談件数	女			指標種別	活動約	結果指標	蓝						
						H26年度	H27年	度	H28年度	H29	年度	H30年度	H314	丰度	H32年度	排	旨標の概要	ふるさとハロ	ーワークで取	り扱った雇用権	目談の件数
戦略プラン	10	0 1	1 商工業の育成		標値	10000 件	10000	件	10000 件	1000	00 件	10000 件	10000	件	10000 件						
	3	3 1	1 若者の人材確保	〕	 [績	7913件	9356	件	9,636件												
総合戦略	(3)	3 2	2 女性の活躍支援		1		H28年度					H2	29年度			そ	の他の指標	就職者数			
				改善善目	向上	に向け取り組ん	ってい く。		ークの利用率	改善目	ついては	ふるさとハローワーク駐車場の利用可能台数の不足にいては, HPやチラシ等で公共交通機関の利用促進を引知しながら,解決に向けた検討を行い,引き続きふる									
個別計画				標	若者(者の地域定着化促進に向け取り組んでいく。 				標	さとハロ	ーワークの利用	率向上に	向け取	り組んでいく。	į	事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
间加引回	-							は管理運営	 営を実施し,市						・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		事業費(A)	8,458千円	7,752千円	9,353千円	0千円
担切法人等				事	サ県・	雇用機会の増 シハローワーク	土浦と連携し	し, 求職者	省及び企業に対		や求人情報の案内を行い,市民の雇用機会の増大を図 る。 ・元気いばらき就職面接会の開催(10月)				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
根拠法令等	-			# 業 する雇用の促進を図る。 計 ・平成27年に実施した【地方創生事業】若者地域定着						業計画	·ハロー ¹ (園)見等	·ハローワーク土浦と連携して,認定こども園,保育所 (園)見学ツアーの実施(年3回)				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分類	C 義	務的	的事業		続き村				成定着化促進を			創生事業】若者 イフスタイルセ			事業(就職面 は,新規シートに	内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	職員(のみ	'			さとハローワークオ			~ H29年3月)								その他特財	0千円	0千円	35千円	0千円
事				·元気	炎件数 9,636件 いばらき就職	面接会(つく	(ば会場)(上半							一般財源	8,458千円	7,752千円	9,318千円	0千円	
ヺ 業 市民の)就職促進と勤労者福祉の増進を図るた	活動	│ · 西武	□企業 27社 , ₹ 式筑波店再就耶 □企業 11社 :	战支援面接会	会の開催		単期)	人件費(B)	4,805千円	4,789千円	3,280千円			
業 の 目 め。				実績	·\ -	参加企業 11社 , 参加求職者 34人 , 就職者数 6名 ┏-ワ-ク土浦との連携事業として , 認定こども園 , 保育 (園)見学ツワ-を実施(6月 , 10月 , 2月)				動実						Ī	正 従事 語 割合	0.60人	0.60人	0.40人	
					·若者 ナ-)の	がは か開催 面接	足進事業(就 三会参加企業	進事業(就職面接会,ライフスタイルセミ 会参加企業 36社,参加求職者 46	績						内訳	時間外 勤務	130.00時間	124.00時間	115.00時間		
						名,就職者数 10名,ライフスタイルセミナー参加者 16名 ・年間を通してふるさとハローワークの適正な管理運営											臨時職員等	有	有	有	
車				成	施し,	求職者の利何			星用機会の増大	上半期							事業コスト (A+B)	13,263千円	12,541千円	12,633千円	
の・各種類概・勤労	扰職面	ī接 [:]	さとハローワークの共同運営 会の開催及び周知広報 業の普及 , 啓発	果						成果)				
要 H28	- - - -				るため · 若者	ふるさとNロ-9-クの駐車場の利用可能台数に限りがあるため,駐車待ちをしているケースがある。 若者地域定着化促進事業については,企業のニーズを把握したうえで,開催時期等を見直す必要がある。			る。 , 企業のニーズ	課題						年度当初積算根					
関連 <u>-</u> 性	Kanada Kanada		事業の 生捗状法			目標の 歩状況	達成		事業の 基捗状況	-	改善目 進捗		-	拠	<u> </u>						
14001			有效	か性 中:適切	な成果が得	られている	3		有効性	<u> </u>											
				評価 効率性 中:適切な費用対効果が得られている 評価 対		効率性	率性 -				H30年度 の方向性		理由 -								
性性				総合	評価 B:成果·	費用対効果の	の向上に努	努めつつ継続実施		総合評値	面 -										

部等名	課等名	係等名
経済部	産業振興課	経営支援係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	01	11	商工事務に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4ヌ	総事業費	1,000千円	128千円	225千円	0千円
る経費全体	総人件費	2,996千円	2,244千円	2,278千円	
全体	総事業コスト	3,996千円	2,372千円	2,503千円	

	_											_			
事務事業名 01 商工総務事業	指標名		1107年度		1100	左	指標種別		1 1120左帝	+15	神の地帯				
戦略プラン	目標値	H26年度 <u>-</u> -	H27年度 -	H28年度 -	HZS)年度 -	H30年度 -	H31年度 -	H32年度 -	_	標の概要	-			
	実績	-	-	-		-									
総合戦略	3h		H28年度		改		H2	29年度		その	の他の指標				
	□改 □善 ■ 目 ^商	工会と連携を密にし	[会と連携を密にして商工業の振興を行う。			-	<u> </u>			- W V					
 個別計画 -	標									-	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
										事	¥費(A)	1,000千円	128千円	225千円	0千円
根拠法令等 -	業 め	商工業振興事業実施 に必要な情報共有	等を行う。		事業計画	┃ ┃·商工業 ┃ 議 / 毎 E	集振興事業実施に 1)を行うなど円後	こあたり,商工会 品か事業実施のが	と連絡調整会	l ⊢	国庫支出金	-			
		き続き,費用対効果を考慮した執行に取り組む。 つりパレード部会の円滑な運営を行う。				議(毎月)を行うなど円滑な事業実施のために必要な情報共有等を行う。				県支出金	0千円				
事業分類 D 内部管理事業	-									訳_	地方債 ————————————————————————————————————	0千円			
執行体制 職員のみ											その他特財	0千円			
事	┃ ┃ 活	・商工会との連絡調整会議を12回(毎月)開催し情報共有を行った。 ・まつりパレードの事務局運営を行った。			上半					Ц	一般財源 ———— 、件費(B)	1,000千円 2,996千円	128千円		
業	動有				活	動					/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	0.30人	0.30人	0.30人	
的	續 ¹				実績					内頭	時間外	287.00時間		30.00時間	
	-										1 <u>勤務</u> 臨時職員等				
		新工会と産業振興運	車絡会において4	全体の方向性を共	上半						事業コスト (A + B)	3,996千円	2,372千円	2,503千円	
事 地域の指導的立場であるつくば市商工会等との業 連携を密にし、商工業の総合調整を行う。 具体的の には、つくば市商工会と連絡調整会議を開催し、	∥╙╽右	することで , 円滑な きつりパレードの円	事業実施につな	こげることができた。	期 成	-				Н					
┃の には,つくば市商工会と連絡調整会議を開催し, ┃概 情報共有を図る。 ┃要 まつりパレード部会の円滑な運営					果					30					
Z 6 29/NV T IN A WITH REE	+ m				<u></u>					年度当初					
	課 - 題				■課題	-				∥積					
- - - - - - -	- 事業	≚ ∩ I	│ 改善目標 <i>0</i>			 事業の		改善目標の	1	₩ ₩ ₩ ₩					
性 ISO	進捗	状況 達成	進捗状況	上		<u> </u>	-	進捗状況	-						
14001 H29	┨ 評 _お	有効性 中:適切な 効率性 中:適切な	成果が得られて 費用対効果が得		評	有効性 対率性				H3	0年度	理由 -			
	'''' —	合評価 B:成果·費			_ i i	総合評				のブ	方向性 ⁻	注叫			

部等名	課等名	係等名
経済部	産業振興課	経営支援係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	02	11	商工業振興に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4マ	総事業費	33,368千円	47,849千円	39,140千円	0千円
る経費全体	総人件費	11,664千円	4,488千円	4,556千円	
全体	総事業コスト	45,032千円	52,337千円	43,696千円	

事務事	業名 01 中	7小企業者経営支援事業	指標	票名 商工会会員数	ι				指標種別	成果指標								
				H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度] :	指標の概要	地域商工業	者の指導的立	場である商工会	会の会員数	
戦略プ	ラン 10	0 1 商工業の育成	目標	票値 3452	3417	3381	34	414	3448	3482	3516							
		- -	実	3417	3348	3346												
総合戦	战略	. - -			H28年度				H29	9年度		7	その他の指標	空き店舗活用 H28年度:1件				
		. - -	改善目	 引き続き法令に基	づいた円滑な商工	振興業務を行う。	改善目	 引き続き	引き続き法令に基づいた円滑な商工振興業務を行う。				11/20年度、117					
(周別学	上画 第2次	欠つ〈ば市産業振興マスタ-プラン	標				標						事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初 I	H30年度当初	
旧八八日	1四 (赤 2 //	へり(16印度来)派兵(ハグ・ブラブ						·商工会	・商工会と連携し事業者に対する経営支援を行う。				事業費(A)	1,809千円	2,292千円	1,109千円	0千円	
根拠法	つ(は 金,大	ば市既存商店街等空き店舗活用補助 大店立地法,採石法,砂利採取法,小 事業者支援法,商工会法,中小小売	事業	 - ・商工会と連携し事	業者に対する経営	堂 古揺を行う	事業	│·周辺市	i舗補助事業を行 ō街地の商工業振 室と連携∪ながら	『興に向け,商』	会·周辺市街		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
163,274	ヾ`3 規模 商業打	事業者支援法,商上会法,中小小売 振興法	計画	・空き店舗補助事業			計画	·商工会	全に延済する。 全定期監査の実施 との山づくり計画	5(2年に1回)	2日に4同日とか		県支出金	116千円	0千円	0千円	0千円	
事業分)類 C 義	務的事業						る植樹絮	設品づくが出口 発開催を計画。 セアの開催。	10,1120,107,1		内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体	x制 一部	委託		·大規模小売店舗3	2地法(特例区域	指定1件(クレオ) , 新	f					-	その他特財	100千円	0千円	0千円	0千円	
】 】 事	也域の商工	振興事業を推進するため。 テに基づ〈事務(届出受理,許認可など)を 申請者(中小企業者等)の事業の適正か		設·変更届出に係る 出席2回,県大店舎	地域貢献ガイドラ		上半期活動		_				一般財源	1,593千円	2,292千円	1,109千円	0千円	
業合	的な振興		加 1 2	3件・地域懇談会2 ・北条商店街市長額 ・砂利採取法や採	恳談会(1回開催)	事務1件,立入検査		l.					人件費(B)	8,582千円	2,244千円	2,278千円		
目に実	!施し,申請			2回,安全パトロー ・ふるさとの山づく!	ルの実施)								従事 三割合	0.85人	0.30人	0.30人		
13 5	健全な連盟	営を確保するため。		り懇談会3回の開催 ・既存商店街等空	≝) ⁵店舗活用補助金	績					内訳	時間外 員 勤務	849.00時間	17.00時間	30.00時間			
				·商工会法(事業報								-	臨時職員等	無	無	無		
▋▄▋目	的とした。	5等の空き店舗の解消と地域振興を 中小企業者等への支援	成	·各種法令に基づく ·西武筑波店閉店(***********************************	後の後継店舗早期	誘致のため大店舗	上 半						事業コスト (A + B)	10,391千円	4,536千円	3,387千円		
耒 . ⁻ の .	産業フェア(下記法令に 大規模小売	の開催。 ニ関する事務 売店舗立地法(新設・変更届に係る意	⊞	特例区域指定を受 務を行った。	けた。併せて人店	舗事務の円屑な業	期成果	-			Ш	Н						
	書の提出を書の受理を	など) , 商工会法(定款変更 , 事業報 📗										∦ £	30 年 度					
小	小売商業	振興法,採石法,砂利採取法	課	┃ ・各法令に基づき過	切な事務を遂行る	する。	課					<u> </u>	文 当 切 -					
		-	題				題						責 第					
環関	28 境 連 <u>-</u> 生			 事業の)			1 技 	银 処									
ISO 14001	- 1-				<u></u> 進捗状況 な成果が得られて			<u> </u>	<u> </u>	~17 1/1/10								
環	29 !境		評価	効率性 中:適切	な費用対効果が得	豊用対効果が得られている			<u> </u>				130年度 2 2 3 5 5 6 7 7	理由 -				
関	連 - 生			総合評価 B:成果・				総合評	価 -				751 311					

部等名	課等名	係等名
経済部	産業振興課	経営支援係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	02	11	商工業振興に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
る 4ヌ	総事業費	33,368千円	47,849千円	39,140千円	0千円
る経費全体	総人件費	11,664千円	4,488千円	4,556千円	
全体	総事業コスト	45,032千円	52,337千円	43,696千円	

事 務事業夕	102 産	新丁	団体等支援事業	指標	標名 商	工会会員数					指標種別	成果指標							
7 <i>10</i> 7×L	102 12	-,	MIN J Z J Z J Z J Z J Z J Z J Z J Z J Z J			H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度] :	指標の概要	地域商工業	皆の指導的立	場である商工	会の会員数
戦略プラン	1	0 1	1 商工業の育成	目標	漂値	3452	3417	3381	34	114	3448	3482	3516						
		- -	- -	実	績	3417	3348	3346											
総合戦略		- -	- -				H28年度				H2	9年度		7	その他の指標	-			
		- -	- -				ながるよう商工会	会、各種商工団体	改善		「商工会等関係 」	団体と連携を図り)円滑な商工振						
個別学而	答?	h \	/ /	目標	寺の文扮	爰を行う。			目標	興業務を 	■業務を行う。 ■				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
10万計画	年 / //	火ノ	〈ば市産業振興マスタ-プラン												事業費(A)	31,559千円	45,557千円	38,031千円	0千円
担加计会学	つ(la 工会:	ボ市 法 ,	商工会事業補助金交付要綱,商 つ〈ば光の森事業補助金交付要	事業	 ± T	、火の木笠々	*経団は答。の=	ᅡᅋᄑᄭᅝᄼᆣᄼ	事	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	+ 	○ ^{注마}			国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
根拠法令等	項,, 団体	,中 組組	つ〈ば光の森事業補助金交付要 小企業等協同組合法 , 中小企業 践法 ,	計画	· 岡上会 に基づく 	、元の <u>森寺台</u> (事務を適正か	ででは、一般では、	支援及び, 各法令	業計画	·つくば市商工会事業への補助。 ·中小企業等協同組合法等各種法令に関する事務。 				県支出金	0千円	640千円	0千円	0千円	
事業分類	E 補	助	金·負担金事業	I										内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	職員	のみ	,			市商工会事業								$\ \cdot \ $	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
由					創出緊急	つ〈ば光の森事業への支援(補助金)に加え,賑わい 創出緊急対策事業(補助金)により追加支援(クレオス・ エア 対前年比 来館者:2%1.2万人増 売上:5%0.98億									一般財源	31,559千円	44,917千円	38,031千円	0千円
		D商工業振興のため各種商工団体等の支 こ		単川	円増)	エア 対前年に 未臨者に初に2万人頃 売工:3900.900 円増) ・テクノパーク桜への魅力ある商店街づくり支援(補助st									人件費(B)	3,082千円	2,244千円	2,278千円	
の 援を行 目 的	」つ。			実績	1件)	ケークを、の感力のも同点の、りく扱(補助金 件) 中小企業等協同組合法(事業報告4件)			活 動 実	-					従事 正 割合	0.40人	0.30人	0.30人	
6.0					(つくば市造園業協同組合・筑波学園タクシー協同組合・つくば市環境事業協同組合・筑波山旅館協同組合)				績					内訳	暗 時間外 勤務	41.00時間	17.00時間	30.00時間	
										-				$\left\{ \cdot \right\}$	臨時職員等	無	無	無	
·つ〈la	ず田田	ΙΞź	会への支援(補助金)。 Rus ざない舎UUま Rate は まくせる	成	1.5.6	事業運営の通 一地区の賑わ		業者等の売上向	上半期						事業コスト (A + B)	34,641千円	47,801千円	40,309千円	
乗 ボージ の 金)。 概 · 下記	/ョノ事	ままりに関		果	'		出受理や許認可 事業執行を支援し]等の事務を適正 った。	期成果						80				
中小	・下記法令に関する事務 中小企業等協同組合法 中小企業団体組織法 			課題			美者にとって , 商. こう連携を図る。	工会の事業・運営	課題	-				利	算				
H28 環境 関連 性	環境 関連 - 性 性			事業の 達成 改善目標の 事業の 改善目標の ・ 改善目標の ・							-	村	及 処 						
14001 H29	- -			評	有効性		成果が得られて		- 主亚	有効性				- Н	30年度				
環境関連 .	-	A	価			費用対効果が得			効率性				H30年度 の方向性		理由 -				
性 性				総合評価	価B∶成果·費	用対効果の向上に	2努めつつ継続実施		総合評価	(曲 -									

部等名	課等名	係等名
経済部	産業振興課	経営支援係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	02	12	融資対策に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4マ	総事業費	170,996千円	154,171千円	175,680千円	0千円
る経費全体	総人件費	7,103千円	5,447千円	5,543千円	
全体	総事業コスト	178,099千円	159,618千円	181,223千円	

事務事	事業名	01 融	資対策事業	指標	票名 融資	〕あっせん件	数				指標種別	成果指標							
5-323-5	F.Ж. II	0. 102(3				H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	j	指標の概要	自治金融の	利用申し込み	融資あっせん作	牛数
戦略:	プラン	- -	- -	目標	票値	400	400	400	4	100	400	400	400						
				実	績	427	383	294											
総合	戦略						H28年度				H2	29年度		 	の他の指標	-			
			- -	改善	則·要綱d	り改正を行う	ら 併せて効率的	用を図るため , 規 なシステム更新に	改善目標	付規則)	規則(つくば市中小企業事業資金融資利子補給金交 規則)に対応したシステムに更新し,事務の効率化を								
個別	計画			目標	回けた検	討を行い, 특	事務の効率化を 近	≛のる。	標	図る。					事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
间加	司四	-			年間件数:40	 小企業事業資金融資あっせん 件数∶400件 あっせん額∶2,279,400,000円				【融資あっt 年間件数:	400件 あっせん額:2	,088,000,000円		Ī	事業費(A)	170,996千円	154,171千円	175,680千円	0千円
根拠污	去令等	中小企	≧業信用保険法 , つ⟨ば市中小企業 賃金融資あっせん規則ほか	事業	【利子補給】 補給額:56,20 【保証料補助 補助件数:40	】 0件 補助額:63	,823,200円		事業	【利子補給 補給額:48 【信用保証 件数:400件	,880,000円 料】 ‡ 補助額:58,464,000	四			国庫支出金	0千円			0千円
		尹未兵	き 並成員のプロル派別はガ		件数:5件 補	表雨災害利子補 前助額:783,000F ※実存男児証料	9		計画	件数:7件	比豪雨災害利子補給】 補助額:390,000千円 比富売災害信用仍試数) (1) 7# 0+1			県支出金	10千円	235千円	227千円	0千円
事業	分類	C 義和	務的事業		件数:5件 補 【その他】	雨災害信用保証料補助] - 補助額:398,000円 - 補助額:398,000円 - (大変) (大きな) (大き							内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行	体制	補助金	会(直接)					関に対する情報提供)		仏報沽動()	ホームベージへの情報	뚻掲載)		$\ \ $	その他特財	58,000千円	59,000千円	57,000千円	0千円
_				年間件数:29 【利子補給】		复:1,628,300,000円		上半				一般財源	112,986千円	94,936千円	118,453千円	0千円			
事 業	市内中	小企業者の金融の円滑化及び経営基盤		中中	【保証料補助	甫給額:43,439,845円(1,291件)]				人件費(B)	7,103千円	5,447千円	5,543千円	
			るため。	実	【関東·東北蒙 件数:5件 補	景雨災害利子補 前助額:399,636F	給】 9		活動実						正 従事 割合	0.90人	0.70人	0.70人	
ĦЛ					[関東・豪雨災害信用保証料補助] 件数:5件 補助額:282,013円 [その他]								内訳	職 時間外 勤務	156.00時間	120.00時間	156.00時間		
					ム 報沽凱(示										臨時職員等	有	有	有	
				_15	中小企業者 的に融資あ	に対する事業 っせんを行うと	資金の融資あっせん ともに,利子の一部	・制度について,積極 補給及び保証料の全 事業資金の調達及び	上半						事業コスト (A + B)	178,099千円	159,618千円	181,223千円	
業の機械	子補給 払まで(認定事	補助及 の手続 務。東	資あっせん審査会の開催。融資利 なび信用保証料補助の申請から支 きをする。経営安定関連(5号)係る 日本大震災復興緊急保証に係る認	果	事業の安定	∵発展に寄与し)取り組みの見	った。	事業資金の調達及びことって分かりやすい	半期成果	-				H 30	H 0		1		
	H28		関連の情報提供及び相談受付。	課題	利子補給 綱を今年 としたので	金交付事務 度に廃止し ご, スムーズ	の効率的な運用 , 来年度から新規 に運用できるよう	3方法を検討し,要 見則が施行すること うにする		-				年度当初積算机	責 1 1				
	環境 関連 _ 性		事業の 達成 改善目標の 達成 事業の . 改善目標の						換										
ISO 14001				有効性	中:適切な	:成果が得られて	いる		有効性	E -									
	H29 環境 関連 -			評価	効率性	中:適切な	費用対効果が得	まられている	評価	効率性	<u> - </u>				30年度 方向性	理由 -			
性性					総合評価	B∶成果·費	用対効果の向上に	三努めつつ継続実施		総合評	価 -								

部等名	課等名	係等名
経済部	産業振興課	産業創出支援係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	02	13	産業創出支援事業に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 収	総事業費	19,461千円	26,210千円	44,690千円	0千円
、る経費全体	総人件費	23,169千円	23,914千円	16,596千円	
全体	総事業コスト	42,630千円	50,124千円	61,286千円	

				11-1		/ 1 18774	A N/ - N/ (T	141			T / T								
事務事業	雀名 (1つ〈	ば産業創出支援事業	指標	漂名 つ		マー企業の数(累	<u> </u>	1100	左在	指標種別	成果指標	1 1120年度	+	おきなない	┤ ┤ ┼ ╅ ⋜ き れ き む	++0 +- N\1.T =	◇☆◇田≒	L ** <i>t</i> -
 戦略プラ	5 × /	10		目標	漂値	H26年度 225社	H27年度 230社	H28年度 235社		年度 0社	H30年度 245社	H31年度 250社	H32年度 255社	打	信標の概要	一中内で設立。	されにヘンチャ	一企業の累計	「安义
		10	・ 同工業の自成 。 研究機関等の集積をいかした						24011		24011	25011	20011			-			
		1	2 イノベーションの創出	実	績	270社	286社	294社	1			0/F (F							
総合戦	略	2	2 商工業・サービス産業の育成	7/7	つくば市		H28年度 ソターの再整備に	 こあたり , 単なる居	7/-			29年度	が声光ながは却		の他の指標	i -			
		- -	- -		室の提信人材でき	共にとどまらす らには支援者	げ,入居企業と学 音等が交流できる	生や研究者,0B ,"場"を創出し,つ		発信事業を構築する。									
/¤ DJ ÷ L 7	4		っノば十女坐に即つった。	目標	〈ばでス	「ボスフカー」と人类なが十沓や四穴に必ずいて。 日ーサ			·年度内に経済動向,事業成果等の数値化·指標化の ための定量調査を実施する。					事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
1個別計1	凹 ラ	B 2 次)	つ〈ば市産業振興マスタープラン			·中小企業の相談窓口となり,企業訪問や各種支援情報の提供等,支援事業を展開する。				·「つくは の発信	ば産業情報ネット	ワーク」による		事	事業費(A)	8,827千円	12,546千円	25,650千円	0千円
担切汁人	\ <u></u>	\/ #=		事	・高い技	術力を有する	つくばの企業を	PRし,その販路開	事	│·市内企	注業の紹介動画領 ャー企業の動向		信等		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
化规/公	₹ -) (IA)	1) 産業派典センケー 未例	計	おいえが マッチン 開催する	グ機会の創出	乗回のよび正業 出を目的に , つ⟨	と研究者等との ばビジネスフェアを	計画	・「つくは	憂良企業に対する ばものづくりオーク	るコンサルティン ケストラ技術展	グ支援の実施 示会」への協力・		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
事業分類	業分類 A 任意的事業				・ベンチ	ャー企業等の	事業活動支援扱 の機能強化及び	心点として , つくば 拡充を行う。		支援 · 産業振	。 興センターの入 興センターの再	、居者支援 , 建物	勿維持管理業務 ^施	内 訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体統	制 -	-部委	託		・「つくは	産業情報ネッ				[注来]][(A 6) / () H	正備学来の大		╢┟	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
重		25年度に策定した「第2次つ〈ば市産業振興タープラン」に基づ〈「産業振興施策」を展開			の発信 ・「つくは	゛゙゙ビジネスフェ゛	ネスフェア」の開催:受付人数193名								一般財源	8,827千円	12,546千円	25,650千円	0千円
赤 マス	スター			動	・「つくは	゙ ものづ⟨りオ・		示会」への協力・	上半期活動	_				<u>ر</u>	(件費(B)	11,186千円	7,971千円	8,230千円	
	地域るため		D活性化及び産業競争力の強化を	実績	支援:7回(産総研2回,物材研2回,JAXA1回,高工 1回,国環研1回) ·産業振興センターの修繕工事の実施			動実績						び事 E 割合 戦 R# B# A	1.40人	. 1.00人	1.00人		
					・産業振興センターの修繕工事の美施 ・産業振興センターの再整備構想の策定,基本設計の 実施										時間外勤務	294.00時間	203.00時間	300.00時間	
															臨時職員等	有	有	有	
			・議」の開催 等への情報提供・相談・助言及び事	11 DX. 1	 活動実終 つくば発	責に掲げた事 ベンチャー企	業を多角的に展 業数を高水準で	開することにより, *維持することが出	■半期	_				-	事業コスト (A + B)	20,013千円	20,517千円	33,880千円	
の · 「こ	つくば	産業情	広大支援の実施 青報ネットワーク」による産業支援	果	来た。	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,			成果					Н					
要一「二	つくば		びくりオーケストラ技術展示会」への		個々の	車業について	r 由小企業等 <i>(</i>)ニーズや環境変		\vdash				年					
協力	刀 ' 文	援の詞	美 肔			催に見定め , 🏗		た制度に見直しす	課					 年度当初					
	T -	1_	-	題	√本市の	経済動向につ		でのような抽象的 、指標化し,把握		-				積量算					
H28 環境	8 竟	1-		-	する必要事業の	更がある。 ──	│ 改善目標の			 事業の		改善目標の		根					
関連 性 ISO					<u> </u>	達成	進捗状況	達成		<u>掛状況</u>	-	進捗状況	-						
14001 H29		-		評	有効性		は成果が得られて		評	有効性				H3	0年度				
環境 関連	環境 関連 -		価			:費用対効果が得		一個	効率性					5向性 方向性	・ 理由 -				
性				総合評価	価 B∶成果·費	用対効果の向上に	こ努めつつ継続実施		総合評	価 -									

部等名	課等名	係等名
経済部	産業振興課	産業創出支援係

=	会計	款	項	目	事業	予算事業名
	01	07	01	02	13	産業創出支援事業に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 収	総事業費	19,461千円	26,210千円	44,690千円	0千円
る経費全体	総人件費	23,169千円	23,914千円	16,596千円	
全体	総事業コスト	42,630千円	50,124千円	61,286千円	

事務事	業名	02 創	美 支援	事業	指	標名	新規創業者数(年間)				指標種別	成果指標								
3.373.3.	ж п	0 1 113 2		3-210			H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	j ‡	指標の概要	「つくば市創美 用し,新たに	≹支援ネットワ 創業した供数	ーク」の支援だ	メニューを利	
戦略プ	゚ラン	10	1 商	工業の育成	目 [†]	標値	36件	36件	36件	36	6件	-	-	-			7130 , 347/212/	<u>п</u> ж олетт хх			
		1	2 研イ	究機関等の集積をいかした /ベーションの創出	実	[績	55件	56件	59件								ᆙᆂᅷᄼᅼᇫᄭᄣᅷ	おまましょう	+10+01+	- L O *T III	
総合単	战略	2	2 商	工業·サービス産業の育成				H28年度				H2	9年度	-] _そ	·の他の指標	│「特定創業支援事業による支援を受けたことの証明 書」発行件数				
	_	3	2 女	 性の活躍支援	改善		創業支援事業の 整備する。	充実を図り, 支持	援を受けやすい環	改善	善 │・女性 ,若者起業家教育事業を実施する。					H28年度∶22件					
/B DI±	:Long (3	¥ 1 \/a ·	⊃ / I -¥ -	ト女光に倒っった	目標	児で3	· 正 冊 テ る。			目標	一十成の	·平成30年度以降の本事業の制度設計を実施する。				事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
10万亩	TЩ !	耜∠ 次	ンくは	市産業振興マスタープラン			・特定創業支援事業を行うネットワーク機関(5機関:つく a) *** ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・								Ī	事業費(A)	92千円	77千円	282千円	0千円	
根拠法	·今筀 i	定業語	争力能	6化注	事業	特定 ば市 康士	定創業支援事業を 商工会,つくば研 浦支店 産業技	を行うネットワーク T究支援センター 仮総会研究所・	ク機関(5機関:つく ・,日本政策金融公 筑波大学)による,	事業	実施	返援事業(証明書		,		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
TKJÆ/A	∀ ₩	土禾瓜	- 	AIU/A	計画	創業	スクール , 創業剤	目談及び創業融!	い放入子)による、 資等を行う。 C「つくば創業支援	計	催:2回					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分		A 任意	的事	業			トワーク会議」を閉				·女性 , : 	若者起業家教育	i 及び啓発事業の	D実施∶1回	内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体	本制 1	職員の	み			H					-				$\ \ $	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円	
事 平	■ 平成26年6月に「産業競争力強化法」により国か			 . 台 光	8. 李塔重 张 ·红明	事六付99件 夕	連携機関が実施	上半						一般財源	92千円	77千円	282千円	0千円			
業 ら	認定を	6年6月に「産業競争刀強化法」により国か を受けた「創業支援事業計画(平成26~29 に基づき,各種創業支援施策を展開し,		土刀	するも	セミナー、イベン	ト等への協力		井期 活					,	人件費(B)	5,016千円	6,377千円	4,169千円			
▮ 目 新	「規創	業を実	現する	には、	実績	創業	・創業支援ネットワーク連絡会の開催:2回(5月,12月 ・創業支援ネットワーク会議の開催:1回(3月) ・女性起業家シンポジウムの開催:参加者50名									正 従事 正 割合	0.60人	0.80人	0.50人		
									実績					内訳	時間外 勤務	209.00時間	162.40時間	170.00時間			
										-	-					臨時職員等	無	無	無		
重					成	創業	支援事業計画に	基づ〈事業を適 [·]	切に実施すること	上半期						事業コスト (A + B)	5,108千円	6,454千円	4,451千円		
の 概	「つくに	ば創業	支援ネ	本的な創業支援施策の実施 ットワーク会議」の開催 家の育成事業の実施	果	により	り, 年間59件の新	f規創業があった	. .	成果					H 30	0					
要	・女性及び若年起業家の育成事業の実施・ 大性及び若年起業家の育成事業の実施・ 大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大			課題	業 , 若 ・国の を終っ	業機運の醸成を目若年起業)に注力 お認定期間終了行 でとするか、ノウ として継続するか]する必要がある 後(H30年度以降 ハウ・枠組等を	₹教育(特に女性起 る。 ≩)について,事業 引き継いだ市独自 がある。	課題	-				年度当初積算根据							
関	表現 関連 <u>-</u> 性					事業σ 建捗状		改善目標 <i>0</i> 進捗状況			事業の 進捗状況	-	改善目標の 進捗状況	-	換	<u>.</u>					
180 14001	1	-	有交		「向上(高水準を	•		有効性	<u> </u>				00/T #								
環	H29 環境 関連 -		評 価 	-	^{季11年} いる		, 	準を維持)して 評 効型 価 効型						30年度 方向性	理由 -						
	性 				総合	ì評価 S∶成果·費	賃用対効果を維 持	持して継続実施		総合評	価 -										

部等名	課等名	係等名
経済部	産業振興課	産業創出支援係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	02	13	産業創出支援事業に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 収	総事業費	19,461千円	26,210千円	44,690千円	0千円
、る経費全体	総人件費	23,169千円	23,914千円	16,596千円	
全体	総事業コスト	42,630千円	50,124千円	61,286千円	

重発重	業名	13 7	〈ば産業創出支援事業(補助金)	指	標名	補助金交付決定	 E件数				指標種別	活動結果指	標						
3 -17/3-	****	00 0	(16注采的山文)及节来(市功业)	<u> </u>		H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標	の概要	補助金交付	要綱に基づき	, 交付決定した	件数
戦略に	プラン			目標	標値	24件	36件	38件	38	38件 38件 38件 38件									
		- -		実	[績	39件	40件	43件											
総合	戦略	- -	- -	-,			H28年度		-	Π	H2	9年度		その他	の指標	-			
		- -		改 善 目	·補助新制	か金交付者に対し 度の再設計を行	₋ , 交付効果の検 い交付決定する	ὰ証を行うと共に , 。	改善目	 ・補助金交付効果調査を実施する。 様の制度の応報室にも強化する。									
(田 51):	計画	空 シ 炉	つ〈ば市産業振興マスタープラン	標					標	1、以此的心。	甫助制度の広報宣伝を強化する。				実施 スト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
四から		₹ 7.	. ノ、は川连耒派典マスケーフフフ					分野への事業拡			***********			事業	費(A)	10,542千円	12,787千円	14,758千円	0千円
扣切衬	上个生	つ/ボ	市産業創出支援補助金交付要綱	事		対する費用の補 経営革新計画承 新製品等販路拡	認奨励補助金		▮事 展示		·以下の補助金の交付 展示会出展支援補助金 賃貸刑会業立地推進将原補助金			国庫	支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
11x1x2/2	4 ₹ 5	ン (I&)	中连来剧山又扬州的亚文的安神		賃	賃貸型企業立地推進奨励補助金 創造的研究開発補助金				賃貸型企業立地推進奨励補助金 研究開発補助金 技術系ベンチャー企業立地推進奨励補助金		动補助金	県	支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業	分類	E 補B	助金·負担金事業		産	童学連携·産産連	産連携交流事業補助金 交付要項の改正を行う。		画		・次年度制度の設計,交付要綱の改正を行う。			内 訳	也方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行	執行体制 職員のみ													その)他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
車					1,5	下の補助金の交付 経営革新計画承託		2件	上半						般財源	10,542千円	12,787千円	14,758千円	0千円
業別で	支術の)革新又は事業の拡張に取り組む中小企業 対し予算の範囲内で補助することにより、		活動	1 亲	新製品等販路拡充 新製品等販路拡充 賃貸型企業立地	大支援補助金∶1	3件	■期	_				人件	費(B)	6,967千円	5,580千円	2,497千円	
			を業及び雇用の創出を図り,もって 5性化に寄与するため	図り,もって 実 編		創造的研究開発	補助金∶1件 Ē携交流事業補助金∶1件		動					正 職一	従事 割合	0.90人	0.70人	0.30人	
					·補助	補助金新制度の構築及び交付要綱の改正			績					訳	時間外 勤務	105.00時間	142.10時間	100.00時間	
									-						持職員等	#	無	無	
			等に対する補助金の交付 要さる経典					小ベンチャー企業	上半期	_					コスト + B)	17,509千円	18,367千円	17,255千円	
まして のして	新製品	飯路:	要する経費 拡大に要する経費 に要する経費	果	の市	内定着及び事業	文援を図ること7	か出来た。	成果					Н					
1000 1.	研究開	発に	要する経費 要する経費											30 年					
				課	. 企業	美ニーズの的確な サネのなけな思え	な把握する必要 <i>が</i>	がある。 がまっ	課					年 度 当 初 -					
		. -		題		加金の交付効果を その周知方法のご			題	-				積算					
3	H28 環境 関連 _	•			 事業の		→ 改善目標 <i>の</i>	達成		事業の		改善目標の	<u> </u>	根拠					
	性			進	<u> </u>	元	進捗状況 進捗状況		進	数状况 有効性	- E -	進捗状況	<u> </u>						
3	1 H29 環境			┃ ┃ 評 ┃ 価	が変性した。産切が悪田が知られている				評価	评				H30年 の方向		· 理由 -			
1	関連							こ努めつつ継続実施	┨ ┈	総合評				יו ניינט	工				

部等名	課等名	係等名
経済部	産業振興課	産業創出支援係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	02	13	産業創出支援事業に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
る 4ヌ	総事業費	19,461千円	26,210千円	44,690千円	0千円
る経費全体	総人件費	23,169千円	23,914千円	16,596千円	
全体	総事業コスト	42,630千円	50,124千円	61,286千円	

事務事	業名(04 創業	業支援事業(補助金)	指	標名	補助金交付決定	三件数				指標種別	活動結果指	票						
3 3/3 3	<i>,</i> , ,	. ,,,,,,,				H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	[標の概要	補助金交付	要項に基づき、	交付決定した	:件数
戦略プ	゚ラン	- -		目	標値	-	-	45件	20	件	-	-	-						
				j	 [績	-	-	4件											
総合戦	战略	- -	- -		1		H28年度			I	H2	9年度		そ	の他の指標	-			
				 改 善 目		28年度新規事業	業)		改善		加制度の改正に向 度を構築する。	向けて調査研究を	を行い,6月まで						
/田 Dilliè	+m 4	<u>ቋ</u> ን ኤሳ	つ〈ば市産業振興マスタープラン	標					目標	こが 市リル	反で開発する。				事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
间力订高		₹ 7 1	フ/は印度未派典 マステーフラブ											哥	事業費(A)	0千円	800千円	4,000千円	0千円
相协注	企 笙	方付電	要項制定中)	事業	┃ ┃·補助	金交付要綱の	交付要綱の制定		事	,抽中全	>六付亜頂の制。	⇒ .6 ⊟			国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
化沙型	マਚ	XII) 3	女填削化中)	計画	·補助	補助金交付要綱に基づ〈 , 申請受理 , 審査及び完了校 査等の実施			業計画					県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分	事業分類 E 補助金·負担金事業													内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体	執行体制職員のみ													$\ \ $	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
事「強	東 「産業等条力強化法」により初定を受け						· 								一般財源	0千円	800千円	4,000千円	0千円
業 支	援事	事業計画」に基づき、特定創業支援事業に 事業計画」に基づき、特定創業支援事業に 足援を受けて創業する者に対し、創業時に必 経費の一部を補助することにより、市内での 創業を促進するため		』	·補助:	・補助金制度の構築 ・新規創業促進補助金の交付:4件				_)	人件費(B)	0千円	3,986千円	1,700千円	
目 要	な経動			実	*新規) 										近事 王 割合	人00.0	0.50人	0.20人	
									 					内訳	時間外 勤務	0.00時間	101.50時間	80.00時間	/
									<u></u>						臨時職員等	無	無	無	
事				成	当該社	補助金を交付す	ることにより , 特	定創業支援事業	上半期	_					事業コスト (A + B)	0千円	4,786千円	5,700千円	
業の新			対する補助金の交付 要する設備費等	果	の強化	化が図れた。			成果					Н					
概要	341750	J 7 1 C 3	び見聞知る											30年	:				
				課	 ·更な	:る費用対効果の)高い補助制度を	を構築していく必要	訓課					年度当初	-				
	<u> </u>	· -	-	題	がある	3.			題					積量算	<u> </u>				
環	128 環境 調連 _	,	·		事業の		改善目標 <i>0</i>			 事業の		改善目標の	<u> </u>	根拠	:				
ISO 14001	性			i	生捗状況 一 有効	π	進捗状況 成果が得られて		進	数据数据		進捗状況	<u> </u>						
H 日 環	- 129 環境	<u> -</u>		 評 価			費用対効果が得		評価	効率性				H3	80年度 方向性	理由 -			
関	i連 - 性			1111	総合記	評価 B:成果·費	用対効果の向上に			総合評価 -									

部等名	課等名	係等名
経済部	産業振興課	企業立地推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	02	15	企業誘致推進に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4ヌ	総事業費	47,993千円	27,518千円	25,119千円	0千円
る経費全体	総人件費	18,532千円	18,412千円	9,377千円	
全体	総事業コスト	66,525千円	45,930千円	34,496千円	

事務事業名	01 企業立地推進事業	指標名	3 工業団地立地企	 ≥業数				指標種別	成果指標						を訪問し,行』 プを通して市外		
737771			H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	į	指標の概要	防ぐ。				
戦略プラン	10 1 商工業の育成	目標値	160社	160社	160社	16	0社	160社	160社	160社			·市内への事 業を訪問。	業所等新増記	设を促すために	市内外の企	
	1 1 科学技術の振興によるまちづく	実績	159社	163社	162社												
総合戦略	- - -			H28年度			ı	H29	年度		そ	の他の指標	工業団地以外への企業立地件数 ベンチャ-企業による事業所設立件数				
		꽃 業	くば市の産業用地の 訪問活動等を通し 取し,立地を促進す	て企業立地の動	言するとともに,企 向や進出意向等を		に。企業	事業者と連携した歴 業訪問活動等を通	iして企業立地の	:収集するととも D動向や進出意							
個別計画	_	+= 正	:業訪問数(市内外) :業誘致PRイベント:	:100件 7回		目標	向等を聴取し,立地を促進する。				事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初		
											1	事業費(A)	46,823千円	21,368千円	23,049千円	0千円	
	工場立地法 つ〈ば市産業活性化促進条例	┃事 ·]	市内外企業訪問活動 □業団地企業フォロ 企業誘致PRイベント	∄)	事業	 - -市内外 -工 業 日	ト企業訪問活動(ji 団地企業フォローフ	通年) アップ (7~8日)			国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
	地域再生法	計	産業用地視察会(4)	業誘致PRイベント 業用地視察会(4月),企業立地フェア(5月), 業交流展(10月),いばらき立地セミナー(2月),			│·企業誘	§致PRイベント		キさまして		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分類	A 任意的事業		産業文流版(10月)。 産産学連携促進市(, (1145e立地区 (2月)	(4)	画	産業用地視察会,産業交流展,いばらき立地セミナー			内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円		
執行体制	職員のみ										$\ \ \ $	その他特財	39,283千円	15,923千円	16,626千円	0千円	
	誘致することにより, 雇用の創出及び市税 収を図るため。		市内工業団地等訪問 市内既存企業訪問			上半期						一般財源	7,540千円	5,445千円	6,423千円	0千円	
事 企業を		活 ·市外 動・定業 実 産外資 海 流展	市外企業訪問 4社	外企業訪問 4社 業誘致PR実施 8回 業用地視察会(4月),企業立地フェア(5月),いは 資系企業誘致セミナー(6月),JASIS(9月),国際								人件費(B)	11,834千円	10,264千円	3,640千円		
			産業用地視察会(4) 外資系企業誘致セ				-	-				従事 正 割合	1.50人	1.30人	0.40人		
13			:展(9月),用地情報 2月),企業立地セミ	度(9月),用地情報交換会(10月),産業用地視察会 引),企業立地セミナーin大阪(2月)		実績					内訳	間 時間外 勤務	259.00時間	227.00時間	250.00時間		
										$\ \ $	臨時職員等	無	無	無			
┃ ┃ ┃ 事 ┃·市内目	死存企業へのフォローアップ訪問や市外企		産業用地の新規取得		約28.2ha						事業コスト (A+B)	58,657千円	31,632千円	26,689千円			
業 業への の ・県なる 概 ・市内を	誘致訪問を行う。 ざと連携した企業情報収集活動を行う。 研究機関と連携して、ものづくり企業の支援	果 [市外企業誘致 15件 既存企業の増設 4f	- , ᡵyz8.zna 牛			-				H 30	0					
要 や企業 H ₂₈	誘致を見据えたイベントを開催する。 -	監 な	産業用地への立地だってきているため , { である。	が進み , 紹介可能 新たな産業用地	能な物件が少な〈 の情報収集が必	課題	-				年度 当初 積 算 相	麦					
環境 関連 <u></u> 性			業の 達成 決況	改善目標の 進捗状況	達成		事業の 基捗状況	-	改善目標の 進捗状況	-	换	<u>L</u>					
	- -	1		向上(高水準を	-		有効性	± -				00 to -t-					
H29 環境 関連 -		評効率	効率性 高:費用対 いる	効果が同上(高	水準を維持)して	評価	効率性	<u> </u>			H:	30年度 方向性	理由 -				
性		総	総合評価 S:成果·費用対効果を維持して継続実施				施 総合評価 -										

部等名	課等名	係等名
経済部	産業振興課	企業立地推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	02	15	企業誘致推進に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
		47,993千円			0千円
る経費全体	総人件費	18,532千円	18,412千円	9,377千円	
全休	総事業コスト	66,525千円	45,930千円	34,496千円	

事務事業	€名 02 ハイテクパーク整備事業	指標	票名 -						指標種別	-							
J- 100 J- 31			H26年	F度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標	の概要	-			
戦略プラ	72 10 1 商工業の育成	目標	票値 -			-		-	-	-	-						
	1 2 研究機関等の集積をいかした イノベ-ションの創出	実終	績 -		-	-		-									
総合戦				H	28年度		-	Т	H2	29年度		その他	也の指標	-			
		改善.	つ〈ば市におけ づいたターゲッ	くば市における産業立地の可能性や、産業構造に基 いたターゲット事業手法 , 集積候補地 , 事業規模等			改善	∮│·調査結果を踏まえた課題を整理し,新たな企業誘致施┃									
個別計		目標	検討する産業原	する産業用地集積調査を実施する。		┃目 策を検討・ ┃標 ┃		とで快引する。				美実施 スト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
间加加	= -										事業	費(A)	0千円	4,980千円	0千円	0千円	
根拠法令	· · · ·			産業用地集積調査委託契約			事				国国	重支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
10122/4	· th -	±⊥ l	調査,企業訪問,企業アンケート実施 調査報告			業計画	・庁内関係各課との調整及び意見交換の実施。			県	支出金	0千円	0千円	0千円	0千円		
事業分	A 任意的事業											内 訳	也方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体	制職員のみ											そ0	D他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
事	な企業立地の促進及び市内ベンチャー企業 成長の受け皿として , インフラを整備し , 市内 の活性化を図るため。	, ,	本立地センター	「つくば市産業集積基盤強化戦略調査」として,(財)日 5立地センターに業務委託。 奈業界地保護地の現地視察を実施(1日間で12地			上坐						般財源	0千円	4,980千円	0千円	0千円
業 新 の 等		動 [・産業用地候補地の現地視察を実施。(1日間で13地区) ・企業ヒアリング(12社),企業アンケート(発送1090件				半期活					人件	費(B)	1,572千円	4,046千円	2,497千円	
目産			・正業にアップク(12社)、正業アプケート(完送1090年、 回答119件)を実施。 ・ポストインキュベーション施設に関して民間事業者と意			動実績					正職一	従事 割合	0.20人	0.50人	0.30人		
		・					績						時間外 勤務	32.00時間	124.00時間	100.00時間	
			·調査では,農	 査では,農振農用地区域を除外したうえで,開発可									寺職員等	無	無	無	
事平	成20年度に「つ〈ば市産業集積に関する調査」	 成(能なまとまった の評価を実施し	:候補地1 した。	11箇所を抽出し	, 産業用地として	上半期						美コスト + B)	1,572千円	9,026千円	2,497千円	
業 を の 理し 概 の	ミ施し,ハイテクパークについての考え等を整 したうえで,新たな産業用地開発の必要性やそ 異補地の抽出,評価及び開発手法等に関する											H 30					
H28	要 調査を行う。		れることとなった。 ・ ・ ・ ・ 産業用地の不足が見込まれるなか,調査結果を十分				課題	-				年度当初積算根3					
環境 関連 性	-		事業の 捗状況	達成	改善目標の 進捗状況	達成		事業の き捗状況	-	改善目標の 進捗状況	-	拠					
14001			有効性 中:	適切な成	 成果が得られて	113		有効性	<u> </u>								
H29 環境 関連	₹	評価	効率性 中:	適切な費	貴用対効果が得	られている	評 効率性 -				H30年度 の方向性		理由 -				
	性 性		総合評価 B:5	忒果·費用	対効果の向上に	2努めつつ継続実施		総合評	価 -								

部等名	課等名	係等名
経済部	産業振興課	企業立地推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	02	15	企業誘致推進に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 4ヌ	総事業費	47,993千円	27,518千円	25,119千円	0千円
る経費全体	総人件費	18,532千円	18,412千円	9,377千円	
全体	総事業コスト	66,525千円	45,930千円	34,496千円	

事務事業名	03 工業団地企業連絡協議会事業	指標	名 工業団地企業	連絡協議会加入	団地数			指標種別	成果指標				·9つある市内工業団地のうち協議会を結成する団地は8団地,うち連絡協議会に参加する団地は6団地で				
			H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	į	指標の概要	ある。不参加	2団地の連絡	協議会参加を	促し,また,1	
戦略プラン	- - -	目標	植 7団地	7団地	7団地	7 [団地	7団地	7団地	7団地			団地の協議? す。	会結成及ひ連	絡協議会への	参加を促	
		実績	貞 6団地	6団地	6団地												
総合戦略				H28年度			_	H29	年度		そ	の他の指標	一工業団地内企業数 H28年度∶145社				
		普 ±	協議会の形成に向け を崎地区の企業への	けて進展のあるテ D企業訪問や連絡	クノパーク桜及び 各会の開催を継続	改 ・協議会の形成に向けて進展のあるテクノパーク桜へ善善 企業訪問や連絡会の開催を継続実施する。■ 目 ・単独立地企業に対してもセミナー&交流会等への参加			-る。			1120千皮,140红					
個別計画		目標	して実施していく。					掛け企業間の交流				事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
1四別計 四			・工業団地企業連絡協議会役員会の定例開催及びセミリー・工業団地企業連絡協議会役員会の定例開催及びセミリー・工業団地企業連絡協議会役員会の定例開催及びセミリー・工業団地会業連絡協議会の最高の定例開催な								1	事業費(A)	1,170千円	1,170千円	2,070千円	0千円	
根拠法令等	-	事	ナー , 交流会の実施 みどりの工業団地 ,	į			ナー, ざ	·工業団地企業連絡協議会役員会の定例開催及びセミナー,交流会の実施 ・みどりの工業団地,上大島工業団地等開催の総会出				国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
IKIMIA 4 TI		計 ".	^{常。} ·テクノパーク桜立地			計画	∥席。テク	フノパーク桜立地イ	È業との連絡会	開催		県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分類	E 補助金·負担金事業	- .	テクノパーク桜 , 茎 劦議会のセミナー等		に対し、工業団地		協議会	パーク桜 , 茎崎地区立地企業に対し, 工業団地 のセミナー等の紹介			内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
執行体制	職員のみ						-				$\ \ \ $	その他特財	900千円	900千円	460千円	0千円	
.			工業団地企業連絡	協議会(団地協)	の総会(1回),役	上半						一般財源	270千円	270千円	1,610千円	0千円	
事	₹C巾,烛太妍九饿倒,巾内丛地止耒寺		員会(6回),懇談会(交流会(1回)を実施	5		∥期	+ 期 活 -				,	人件費(B)	5,126千円	4,102千円	3,240千円		
	報交換を通して産学官の交流を深め,企 市の相互発展を図るため。		·団地協未加入の工 の総会に出席し,意 実施。	業団地協議会(d 見交換及び団地	みとりの、上大島) 協加入への提案を	を動実	ľ					正 従事 部 割合	0.65人	0.50人	0.40人		
13			テクノパーク桜に立	:地する企業とのう	連絡会を2回実施。						内訳	時間外 勤務	111.00時間	145.00時間	100.00時間		
			 セミナー&交流会に	-1+ 田地拉广加							$\ \ $	臨時職員等	無	無	無		
事			でもケー&文派会に こも参加頂き , 企業に 団地協役員会や連	間の交流を深める	る機会を設けた。	上半期						事業コスト (A + B)	6,296千円	5,272千円	5,310千円		
業 各工業 の 役員会 概 視察研	貸団地との情報共有を図るため,定期的に 会を開催する。企業間の交流を深めるため, ₹修・セミナー・交流会を開催する。		でな〈,行政との情報 た意見交換が図れた)課題解決に向け	成果	-				H 30	0					
要		課制題	協議会の結成及び や情報交換の必要性 要がある。	団地協加入につ 生やメリットについ	いて,企業間交流 1て理解を求める必	課題					年度 当初稱算	度 当 - 責					
H28 環境 関連	環境		業の達成	│ 改善目標 <i>0</i>	D 達成		事業の		改善目標の		机	艮 丨					
性 ISO		進技	沙 (八)	進捗状況		ĭ	生捗状況 有効性		進捗状況	l							
14001 H29 環境	H29		有効性 中:適切な成果が得られている 評価 効率性 中:適切な費用対効果が得られている 評価 一				評 动蛇性			30年度	理由 -						
関連 生		∥ '''' ⊢	総合評価 B:成果・責			1	総合評				စ	方向性	- 				

部等名	課等名	係等名
経済部	産業振興課	産業創出支援係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	02	16	技術開発支援に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
う る 経	総事業費	17,802千円	7,515千円	7,728千円	0千円
貴	総人件費	7,896千円	7,971千円	4,182千円	
全 太	総事業コスト	25,698千円	15,486千円	11,910千円	

事務事	業名()1 技術	 村開発支援事業	指標	名 トライアル発注詞	忍定制度による詞	忍定事業者数			指標種別	活動結果指	二						
		321			H26年度	H27年度	H28年度	H29	9年度	H30年度	H31年度	H32年度	指	1標の概要	トライアル発	主認定制度の	新規認定事業	美者数
戦略プ	ラン	10	1 商工業の育成	目標	発値	8社	8社	5	社	5社	5社	5社						
		- -	- -	実約	績 -	12社	2社											
総合戦	战略	- -				H28年度				H2	9年度		そ(の他の指標	-			
	_			善	・「知恵の経営」の普及地域の取組に発展され	せる。			改正する		·							
/EL 212	ım. 4	空 2 7/2 /	つ/ボキ卒类に卿ファカープニン		・トライアル発注を庁ア び評価実績を上げる。	内に凌逸させ,説	足製品の導入及		· トライアル発注認定制度の拡充のため,年度内に制度 を再設計する。			1	事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初	
他力。	「凹 5	₹∠次	つ〈ば市産業振興マスタープラン						·技術顧	開発支援プラット 同及びリンカー		技術·経営支援	事	事業費(A)	17,802千円	7,515千円	7,728千円	0千円
根拠法 ⁻	个 华			<u> </u>	そこだり、飲煙が入り チング支援,経営アド ・セミナー等を開催し,	バイス等を行う。		事	・つくば	リチング支援 技術開発クラブは トス集却発 <i>信</i>	こよる販路拡大す	支援 ,メルマガ発		国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
化 规/云*	ਕਚਾ-			<u>計</u> :	う。 ·販路拡大等を目的に			業 計 画	·先端技	よる情報発信 統発表会等のt 企業等経営力向				県支出金	9,504千円	0千円	0千円	0千円
事業分)類 A	4 任意	意的事業		の出展支援を行う。 ·市内中小企業等の個 ライアル発注認定事業		の普及を目指し、ト			アル発注認定の領		試験導入,情	内 訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体	大制 -	一部委	託	-	フィアル光圧認定事』 技術開発支援プラッ				<mark>・国内外</mark>	の産業展示会出	出展,RIT事業の	実施		その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
事研	■ 研究機関·大学等のシー	う笙のシープを見十阳に活用した		·つ〈ば技術開発クラ∑ 援 ,メルマガ発行(65f	(ば技術開発クラブによる都内産) メルマガ発行(65件)等による情報		上						一般財源	8,298千円	7,515千円	7,728千円	0千円	
業が	ら,中	(関・大学等のシーズを最大限に活用しな 中小企業者等のイノベーション基盤力を強 下請・研究開発型企業への転換促進)し,		動[·先端技術発表会(産 回開催(9月,3月)		等共催)の開催:2	半期活	l.				7	(B)	7,896千円	7,971千円	4,182千円	
目地			性化及び産業競争力の強化を図る	傾!	中小企業等経営力・トライアル発注認定	事業者認定2件	動					I	n k	1.00人	1.00人	0.50人		
				.	(商品認定3件),試駅 ・産業展示会出展:8月 国ハイテクフェア,G7	展示会(JASIS	示会(JASIS,産業交流展,中						内訳	時間外勤務	175.00時間	203.00時間	175.00時間	
				-		(3)		L						臨時職員等	無	無	無	
■ · :	つくば打	支術開	接プラットフォーム事業 発クラブの運営	成	活動実績に掲げた技 実施することにより,(術支援,経営支	援事業を多角的に	出半期	l.					事業コスト (A + B)	25,698千円	15,486千円	11,910千円	
業の概	奎学官 顕問の	金連提	経営アドバイス等の実施 携事業の実施 は経験と人脈を活用した技術支援 経営力向ト支援事業	果	を強化することができ	た。	/ 、 ノコノ至血/	,					H 30					
女	の ・顧問の豊富な経験と人脈を活用した技術支援 ロルク業等経営力のトラ援事業		課題	・「つくば技術開発クラ 状の乖離の改善・「トライアル発注認定 上	型製品」の試験導	入・評価実績の向	課題					年度当初積算	-					
環 関	H28 環境 関連 性 1 1 1	事	・産業展示会出展文 事業の 造成 渉状況 達成				事業の 改善目標の 進捗状況 進捗状況				根拠							
		評		成果が得られて		評	有効性 -			Н3	0年度	TI -						
関	環境 関連 - 性			猫	効率性 中:適切な 総合評価 B:成果・費			価	効率性 総合評					方向性	理由 -			

部等名	課等名	係等名
経済部	産業振興課	ブランド推進係

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	07	01	03	17	物産品振興に要する経費

要す	事業実施コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
る 4ヌ	総事業費	875千円	1,802千円	2,114千円	0千円
る経費全体	総人件費	842千円	832千円	14,904千円	
全体	総事業コスト	1,717千円	2,634千円	17,018千円	

事務事業	業名(ンド推進事業		指	標名市	う う う う う う う う う う う う う う う う う う う	R·販売出店イク	ベント数			指標種別	活動結果指	票						
		(1	∶市内物産品振 ——	興争業) 	l		H26年度	H27年度	H28年度	H29	年度	H30年度	H31年度	H32年度	扎	旨標の概要	市内外にて, に出展したイ	物産会会員に ベントの数。	よる物産品の	DPRや販売
戦略プラ	ラン	12	1 観光の振興		目相	標値	-	-	-	3	32	33	34	35			Гощисото			
		- -	- -		実	ミ績	32件	28件	28件											
総合戦	略	- -	- -					H28年度			ı	H2	19年度		そ	の他の指標				
	_				改善	│ │ ·物産会	会と連携した市	i内物産品の普及	 と活動		∮ 東京事務所や物産会との連携を強化し,市内物産品			, 市内物産品の						
/田 四 兰		<u> </u>			目標					目標	首及活動	即を行う。				事業実施 コスト	H27年度決算	H28年度決算	H29年度当初	H30年度当初
個別計	-										市内外	で開催されるイ	ベント等にて市区	力物産品のPR	Į	事業費(A)	875千円	1,802千円	2,114千円	0千円
根拠法令	~ 华				事	± + #	で明保されて	ノベンしやナニン	ペーンルフ ェ カ版	事	や販売を	を行う。	した物産品のPF			国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
作()处/云气	र चें -				業計画		PR及び販売で		ペーンにて市内物	計画	う。 ・つくばコレクションの新規・更新認証を行う。				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業分	·類 A	任意	質的事業								・つくばコレクションについて、物産品の他に企業の優れたモノづくり製品を認証する制度を創設する。				内訳	地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体	制即	戦員の	み												$\ \cdot\ $	その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
車				. 新相ら	・新規6件を含む28件のイベントやキャンペーンでの出			上半				一般財源	875千円	1,802千円	2,114千円	0千円				
業市	内の(ンド化	憂れた し、こ	物産品やモノづ れらの販路拡大	くり製品を認定 , ブ やイメージアップを	活動	展を調整し,市内外で市内物産品をPR販売。 ・つくば駅構内に「つくば市物産館」をオープンし,市内				期 活	_					人件費(B)	842千円	832千円	14,904千円	
目的	援する	3.Z.E.T	で市内産業の活	性化を目指す。	実績	物産品	物産品の販路拡大及び販売を促進。 ・つくばコレクション新規2品·更新3品を認証									世 (単 (単 (単) 割合 (単) まままま	0.10人	0.10人	2.00人	
										実 績 					別	時間外勤務	37.00時間	37.00時間	95.00時間	
										 -						臨時職員等	無	無	無	
■ 交	付する	るととも	に,市内外で実	業に対し補助金を 施するイベントへ	成	物産会認証に	への補助やイ	ベント出展調整	, つくばコレクション E広くPRし, 物産		_				-	事業コスト (A + B)	1,717千円	2,634千円	17,018千円	
栗 産 産	品振り 憂れた	^{興を行} 物産品	う。 品を認証する制度	会と連携し,市内物度「つくばコレクショ		品の普	及·販路拡大	に寄与した。		成果					H 30)				
要制		削設さ		くり製品を認証する くばブランド化の推											年度当初	<u>.</u>				
	C H J	-			課題	市内物	産品のさらなる	る振興		課題	-				∦	 - -				
H2	28	-		-											第 根	<u>[</u>				
関	環境		_ 事業の <u>基捗状況</u>	達成	改善目標の 進捗状況	達成		事業の 誘数状況	-	改善目標の 進捗状況	-	拠	<u>L</u>							
1SO 14001		1	有効性	生中∶適切な	は成果が得られて	いる		有効性	<u>-</u>											
環境		評価	効率性	生中∶適切な	で費用対効果が得	引られている	評価	効率性	-				30年度 方向性 -	理由 -						
	性				総合評	^፻ 価 B∶成果·費	用対効果の向上に	に努めつつ継続実施		総合評価 -										